

令和 5 年第 5 回久米島町議会定例会一般質問

令和5年6月5日～6月7日

令和5年第5回6月定例会一般質問通告一覧表

質問順	質問者	質問事項	質問日程
1	幸地 猛	1. 畜産振興について	令和5年6月5日(月)
		2. 観光地の整備について(一般質問その後の対応から)	
		3. 道路整備について(一般質問その後の対応から)	
2	盛本 實	1. 観光産業の振興について	令和5年6月5日(月)
		2. 次世代産業への取り組みについて	
		3. 人口減少対策について	
3	宇江原 総清	1. 鳥島射爆撃場と政治	令和5年6月5日(月)
		2. バーデハウスについて	
		3. 真泊の避難道路と観光について	
		4. 銭田川と自然再生について	
4	棚原 哲也	1. 子育て世代への支援策の拡大を	令和5年6月5日(月)
		2. 泊フィッシャリーナの整備及び適正な管理について	

令和5年第5回6月定例会一般質問通告一覧表

質問順	質問者	質問事項	質問日程
1	真栄平 建正	1. 深層水事業について	令和5年6月6日(火)
		2. 農業振興について	
		3. バス停設置について	
2	赤嶺 秀徳	1. 新型コロナウイルスについて	令和5年6月6日(火)
		2. バス停留所について	
		3. 施設の補修・改修について	
		4. 保育園等運営事業について	
3	富永 肇	1. 学校教育について	令和5年6月6日(火)
		2. 久米島高校及び支援事業について	
		3. 風の帰る森交流施設について	
		4. 民生委員児童委員への活動支援について	
4	新垣 幸子	1. 国防と脱炭素社会と海洋深層水について	令和5年6月6日(火)
		2. 民生委員の役割と確保について	
		3. 防災無線放送について	
		4. 風の帰る森の芝生及び植栽管理の委託業務について	
		5. 自然や生き物の偉大さについて	

令和5年第5回6月定例会一般質問通告一覧表

質問順	質問者	質問事項	質問日程
1	喜久里 猛	1. 町道・県道の白線(側線)について	令和5年6月7日(水)
		2. 天然モズクについて	
		3. 久米島の気象変化について	
		4. ペットの飼育放棄について	
		5. 観光立町について	
2	東江 浩明	1. 本町の県・町道の整備事業状況について	令和5年6月7日(水)
		2. 堆肥センター業務委託後の現状と今後への対応状況について	
		3. 観光客入域対応及び誘客戦略について	

席番	質問者	質問事項	要旨	答弁者	答弁内容	担当課
13	幸地 猛	1. 畜産振興について	(1)久米島町山羊生産振興事業について 当初の運営団体が活動停止しているため、新たな運営団体を模索する必要があるという。山羊振興センターをリニューアルし、新たな運営団体と契約する。また、施設の使用料も検討するという事務引継ぎをしているが、山羊生産振興事業について町の取り組み状況について伺います。 (2)畜産総合施設事業の取り組みについて 伊江村において農家の負担を減らすことなどを狙って、子牛から育てる施設が完成しております。農家から生後4か月の子牛を預かって競りにかけるまでや、子牛から肉牛になるまで育てることになっているという。県内初の施設ということで、畜産振興のために今後大きく期待をされています。久米島町においても畜産振興を図る上から同事業に取り組む必要があると思いますが、町の見解を伺います。	町長	(1)久米島町山羊振興センターの改修については新たな参加者、改修は可能か、改修する事になれば工法、財源はどうか等、関係課と調整してまいります。 (2)伊江村畜産総合施設は伊江村をはじめ、北部地域の畜産振興につながるよう沖縄北部連携促進特別振興事業を活用し総事業費16億7千万円で整備し4月3日より運用しております。久米島町においても同様な施設の必要性などJA、和牛組合の意見をふまえ情報収集を行ってまいります。	産業振興課
		2. 観光地の整備について(一般質問その後の対応から)	儀間29号線(アール林道)の整備について、供用開始から40年経過しており亀裂等修繕が必要な箇所もございます。修繕箇所や整備要望については、関係機関と意見交換して実施可能か検討してまいります、ということですがその後の検討結果について伺います。	町長	儀間29号線につきましては、令和3年12月定例会の一般質問でありましたが、対応できておりません。道路部分の危険箇所及び亀裂箇所については補修で対応し、整備要望箇所については、補助事業採択を含め引き続き検討してまいります。	建設課
		3. 道路整備について(一般質問その後の対応から)	仲里公園横の道路について 比嘉公民館横の道路整備について、今年度(令和2年度)で施設整備が完了する予定となっている。公園を利用する際に、その道路も交通量が増加することが予想されるので、今後整備できないか検討してまいります。という答弁内容となっています。その検討結果について伺います。	町長	仲里公園横の道路については、安全性の確保や道路整備の優先順位等により整備に至っておりません。引き続き調査を行うとともに地権者の意向等も確認し、整備について検討してまいります。	建設課
2	盛本 實	1. 観光産業の振興について	令和元年度から取り組んできた、第2次久米島町観光振興計画が今年で最終年度ですが、総括の予定はありますか。また第3次観光振興計画策定の計画についてはどの様なお考えか伺います。 施政方針の中で「観光立町宣言」を明確に目指すとありますが、具体的にはどの様な手法で行おうとしているのかお伺いします。	町長	第2次久米島町観光振興基本計画については、次期観光振興基本計画の策定と並行して振り返りを行い、課題を整理したうえで、次期計画に反映させて参ります。観光立町宣言について次期観光基本計画の策定を通して、具体的な取り組みを整理して参ります。	商工観光課
		2. 次世代産業への取り組みについて	町長として海洋深層水関連産業への取り組みについては政策の中でどれくらいの比重を占めているのか、また、事業の効果をどの様に分析しているかをお伺いします。	町長	海洋深層水関連産業への取り組みについては、私が掲げた6本の基本政策の中でも大きな比重を占めております。海洋深層水の大容量取水管導入による次世代産業の誘致は、農林水産業や商工業、観光産業の活性化に大きく寄与し、新規雇用の拡大等による経済効果は大きいものと分析しております。	プロジェクト推進課
		3. 人口減少対策について	令和5年3月末現在の人口が7,250人となっている。ここ十数年来減少傾向であるがこの人口減少の歯止め対策はどの様に考えているのか伺います。また、抜本的な対策はあるのか、それと多角的な視点から本町の適正人口数はどれくらいだと思われるのかお伺いします。	町長	本町における人口減少対策は、第2次総合計画に掲げる各施策を着実に推進することと考えております。 抜本的な対策としては、政府が次の骨太の方針で示すと言われている少子化対策を注視しつつ、国の方針に対応していきたいと思っております。 適正人口につきましては、個別で示されたり、検討したことはありません。過去を思い出してみると1万人程度の人口規模であった時は、地域の担い手や、学校の生徒数の規模も一定数保たれていたのではないかと思います。	企画財政課

席番	質問者	質問事項	要旨	答弁者	答弁内容	担当課
5	宇江原 総清	1. 鳥島射爆撃場と政治	<p>その前に元同僚議員、仲村昌慧さんが亡くなりました。ご冥福をお祈りします。</p> <p>私は本町北側に住む女性から「自分はガンである」と告げられました。私は本人に対し、身近な人達にその前兆や治療状況を語ることも大事な。ガンの予防対策にもなる。と助言した。</p> <p>先だって、イギリス政府はウクライナに劣化ウラン弾を供与する。劣化ウラン弾は、破壊力は強いが人体や環境には影響がないとした。しかし、イギリス含むNATO軍はボスニア・ヘルツゴビナ、コソボ紛争では大量の劣化ウラン弾を使用。打たれた側の人々は今でもガン等で苦しんでいるという。</p> <p>鳥島射爆撃場は、島の写真とバンドエリアで放射性物質の危険性を示したアメリカの公文書がある。町長に伺う。</p> <p>①以上の状況でも「劣化ウラン弾による人体影響は出ていない」と言い続けるのか。</p> <p>②アメリカの公文書はウソなのか。</p> <p>③島をコンクリート石棺にすることを国に要請しないのか。</p> <p>④町内各集落の疫学調査はするのか。</p>	町長	<p>①これまでの調査結果や町民の健康診断の結果並びに町民の死因の分析結果などを総合的に検討すると放射性物質の影響は無いものと考えておりますが、放射線測定を継続して行うなど監視を行ってまいります。</p> <p>②公文書につきましては、関係機関に事実関係を照会しておりますが、現時点において確認はできておりません。また、軍転協をとおして入手できるよう県へ要請もしておりますので、引き続き公的機関から入手できるよう努めてまいります。</p> <p>③島をコンクリートで被うことは、現実的ではないと考えております。</p> <p>④これまでの統計データからも該当するガンの発症が他地域に比べて非常に高いとは認められないため、疫学調査の実施は考えておりませんが、引き続き統計データを収集し注視してまいります。</p>	総務課
		2. バーデハウスについて	<p>バーデハウスの閉館等について伺う</p> <p>①私は「バーデハウスの経営は武士の商法だ」と言った。町長が社長の際に赤字転換方策は。特に、従業員との膝をつき合わせた協議は年、または月に何回か。</p> <p>②「バーデハウス施設は塩分による施設劣化」と答弁しているが、その原因根拠は。また、町長は「階段式護岸は背後の土地を守るため、撤去検討していない」と答弁。同護岸の設置経緯、塩害を与えている実態を知っているか。</p> <p>③県外商社の提案書中に「宿泊施設の建設について」とし、「貴町の進めていただきたい課題とデッドライン」の一つに「2019年までに新規事業計画として、沖縄県に対し公園事業を進めることに対する動機付けを行っていただきたい」とある。この文書、提案書は正しく「出来上がった話」ではないか。</p>	町長	<p>①赤字転換方策につきましては、利用者を増やす取り組みや付帯設備の整備、ランニングコストの低減化、指定管理料の増額による施設改修などの対策を講じてまいりました。従業員との協議につきましては、現場責任者からの定期的な報告や緊急的な報告等を踏まえ、都度行ってまいりました。</p> <p>②施設劣化の原因については外注による調査は行っておらず、現場の状況を確認したうえで、判断しております。護岸の設置につきましては昭和58年頃、災害復旧事業として整備されております。</p> <p>③当該計画については、あくまでも先方の提案であり、提案時点から現時点にいたるまで、事業の実施を確定させるものではございません。</p>	商工観光課
		3. 真泊の避難道路と観光について	<p>本件の避難道路は、次の理由から真泊の人達に犠牲者を出さないため、早急に当初計画どおりに「涙石」近くまで延長すべきではないか。</p> <p>(理由)</p> <p>①消防長答弁、また町の示した案内図どおり「海岸に沿っての避難は現実的ではない。一分一秒でも早く高台へ」とするのが適切ではないか。</p> <p>②また、同道路入口に「避難道路の案内図」がある。</p> <p>③涙石との併用で観光の活性になると思う。</p>	町長	<p>①当該地区が土砂災害特別警戒区域に指定されていることから赤平頂上付近へ避難するルートが望ましいと考えております。</p> <p>②案内図については、土砂災害特別警戒区域に指定されていることから撤去する方針です。</p> <p>③観光整備については、避難ルートと関連して整備することは難しいと思いますが、別案で活用ができるかどうか検討してまいります。</p>	総務課
		4. 銭田川と自然再生について	<p>昨年6月2日に県南部農林土木事務所長等に面談し、河川の三面コンクリートは造らない、と約束させた。現在も三面コンクリートを施している。その理由は何か。町長も県と共犯ではないか。自然再生推進法違反はもとより、豊かな海を枯れさせる原因でもある。そのことを認識しているか。</p>	町長	<p>銭田川的美栄橋から山中橋間については、近隣に集落があり用地の制約があることから、L型排水路で施行しております。今後の整備についても、地元とも調整したうえで進めていくことを確認しております。</p>	建設課
8	棚原 哲也	1. 子育て世代への支援策の拡大を	<p>本町では出産、子育てのための各種支援策を推進しているが、経済的負担の増す小中学校入学及び高等学校入学等の生徒を抱える家庭への支援制度の創設ができていなか伺う。</p>	教育長	<p>現在、就学支援制度及び奨学金制度の周知を図っており、現時点においては支援制度の新設については考えておりません。</p>	教育委員会

席番	質問者	質問事項	要旨	答弁者	答弁内容	担当課
		2. 泊フィッシャリーナの整備及び適正な管理について	泊フィッシャリーナは船舶の隻数の増加及び大型化によってポンツーン(浮き棧橋)が手狭になっている。駐艇場含め全体的な整備計画があるか伺う。また、利活用について ①船の係留場所や陸上の駐艇場所の私物化等利用者間のトラブル等はないか。 ②利用料金の未収があると聞かすが、駐艇場の利用料についても徴収されているのか伺う。	町長	①一部の利用者間においてトラブルが発生しております。その要因として、放置船や駐艇場、係留施設の狭隘化が招いているものと思われまますので、早期に解決に向けた取り組みを推進してまいります。 ②これまで駐艇場の利用に関して料金が徴収されておりましたが、今年度4月より、係留施設同様、料金を徴収することとしています。	商工観光課
10	真栄平 建正	1. 深層水事業について	(1) 過去1年間の進捗と今後の具体的な取り組みは (2) 現時点での新規参入事業者数と必要な取水量、現参入事業所の今後を含めた必要な取水量は。現単価での配水事業の採算分岐水量は (3) ①特別顧問(専門委員)設置について ②規則、要領の設置は ③特別顧問(専門委員)は地方自治法174条に基づき、法の趣旨を遵守しなければならないが見解を ④地方自治法174条第2項で「専門委員は専門の学識経験を有する者の中から、普通地方公共団体の長がこれを選任する。」とあるが、学識経験者とはどう認識しているか。その根拠は(引用文献等) ⑤令和5年3月議会一般質問と条例設置議案での特別顧問(専門委員)の人選に関する回答の趣旨と内容は。	町長	(1) 昨年度の進捗状況については、久米島海洋深層水活用全体計画を取りまとめる予定でしたが、業務を行う中で各種の課題が浮きぼりとなったことから、業務期間を延長しております。今後の具体的な取り組みとしては、全体計画で方向性を取りまとめたうえ、事業化に向けた取り組みを行ってまいります。 (2) ヒアリングを行った新規事業者は4社で、回答のあった事業者の将来計画取水量は日当たり20,000tで、現参入事業者の将来計画水量は季節によって変動しますが、日当たり40,000tから80,000tとなっております。配水事業の採算分岐水量については、取水規模や取水方法が総事業費及び維持管理費に大きく影響すること、また、取水管設置後に企業が何年後に将来計画水量を使用するかによって影響しますので、現段階ではお示しすることはできません。 (3) ①町の重要施策に関する政策的または専門的事項について、相談者への指導及び助言等を行うため、設置しております。 ②要綱を制定しております。 ③地方自治法第174条に基づき設置しております。 ④学識経験とは、「学識または経験ということ、一般に学問上の知識又は実際問題に関する経験を意味する。」と法令用語小辞典第7次改訂版に記載されております。 ⑤3月議会では、特別顧問を配置する趣旨や人選について、議員の皆様にはしっかり説明すると回答しております。人選については熟慮を重ねて決定しており、議員全員協議会において説明しております。	プロジェクト推進課
		2. 農業振興について	(1) ハーベスター単価に関する取り組み進捗状況 (2) 施政方針のサトウキビの機械化の進捗とあるが指標(目標値)と過去実績と今後の計画は (3) 肥培管理等に対する支援の具体策は		(1) 次期、製糖期に向けてさとうきび協議会にて意見交換を行ってまいります。 (2) 機械収穫率を毎年3%程度上昇を目標としており、収穫面積で昨年68.6%、今期73.6%で5%上昇しております。今後も毎年3%上昇を目標に取り組んでまいります。 (3) 堆肥、緑肥、化学肥料、土壌改良材等の補助を行ってまいります。	産業振興課
		3. バス停設置について	(1) バス停の増設、ホテルドーム玄関への新設の進捗状況は	町長	(1) ホテルドームへのバス利用については、久米島町老人クラブ連合会からも要請が来ており、3月にホテルドーム玄関へのバスの停車が可能か、実際に乗車して検証し可能であることを確認しております。しかしながら、現状の運行ルートを大幅に離れることから、運行時間の見直しも検討する必要がありますので、利用時間帯やバス停の位置などを老連より聞き取りしながら引き続き検討してまいります。	商工観光課

席番	質問者	質問事項	要旨	答弁者	答弁内容	担当課
4	赤嶺 秀徳	1. 新型コロナウイルスについて	<p>国は新型コロナウイルス感染症を5月8日から法律上インフルエンザやはしかと同じ5類に変更した。 変更後の本町の取り組み等について4点伺う。</p> <p>(1)本町で発生した場合の対策と本町の役割について (2)久米島病院とは対策等についての協議は行われたか (3)小中学校で発生した場合、インフルエンザと同等の扱いをするのか (4)発生した場合の町民に対する注意喚起をどの様に行うか</p>	町長	<p>(1)感染状況の公表については、週1回の公表となっていることから感染状況を引き続き注視しながら必要な対策を関係機関と連携し講じていきたいと考えております。</p> <p>(2)5月8日以降の対策については、随時、病院の対応を確認しながら連携を図ってまいります。</p> <p>(3)5類感染症への移行後においては、学校教育活動の継続を前提とした上で感染拡大を防止していくため、感染状況に応じた対策を講じていくこととしております。発生した場合においても、文部科学省発行の衛生管理マニュアルに準じた取り組みを行ってまいります。</p> <p>(4)県において新型インフルエンザ等対策会議(仮称)の動向を踏まえこれまで同様、町ホームページ等を活用し周知していきたいと考えております。</p>	(1) 総務課 (2) 福祉課 (3) 教育課 (4) 総務課
		2. バス停留所について	<p>これまでも久米島高校前の上屋付きバス停の設置について質問してきました。前回の答弁では用地交渉を県サイドで手続き中であるとの回答であったと記憶している。その後の進捗状況について3点伺う。</p> <p>(1)用地交渉は済んだのか否か (2)時間が長引いている理由は何か (3)県に対しての要望は行っているか</p>	町長	<p>(1)令和2年度に地権者からの同意書を得ておりますが、用地取得までには至っていない状況です。</p> <p>(2)沖縄県にて予算が確保できず、時間が長引いているとの報告を受けています。</p> <p>(3)県南部土木事務所へ進捗の確認と早期実施の依頼を行っております。</p>	商工観光課
		3. 施設の補修・改修について	<p>4年度中、小中学校から施設の補修や改修についての要望・意見が上がっていると思うが、この要望等に適切に対処し、どのような対策を講じたか3点伺う。</p> <p>(1)4年度中の全小中学校からの要望は何件あったか。 (2)その内、何件の要望に応えたか。 (3)5年度の計画立案は済んでいるか。 町長の見解を伺う。</p>	教育長	<p>(1)(2)令和4年度全小学校及び中学校からの要望は135件でした。そのうち130件が対応済みとなっております。</p> <p>(3)令和5年度においては、簡易な修繕については公共施設包括管理にて随時対応してまいります。前年度までに対応のできていない球美中学校体育館雨漏りについては対応をすすめているところです。その他清水小学校・大岳小学校のプールろ過器については、見積もりが出次第、検討してまいります。球美中学校中庭排水不良については、再度現場確認を行い対応策について検討してまいります。</p>	教育課
		4. 保育園等運営事業について	<p>保育園運営事業等について3点伺う。</p> <p>(1)現在の待機児童は何名か。 (2)待機児童が増えた理由は何か。 (3)待機児童ゼロにするための対策は如何にすべきか。 以上、町長の見解を伺う。</p>	町長	<p>(1)令和5年5月1日現在の待機児童数は12名となっております。</p> <p>(2)保育士不足(退職及び産休等)により受入可能人数減が大きな要因となっております。</p> <p>(3)待機児童解消のために保育士確保が重要だと考えております。人材確保に向けた取り組みとして、家賃補助や島外保育士確保事業を実施しています。</p>	福祉課
3	富永 肇	1. 学校教育について	<p>①全国的に教員不足が問題になっています。特に沖縄県内の公立学校は教員不足が深刻化している。本町の教職員の配置状況を伺う。 ②GIGAスクール端末の利活用状況と課題は。 ③新型コロナウイルス感染症が法上の位置づけを5類に移行しました。学校生活、行事等の方針を伺います。</p>	教育長	<p>①現時点において、教職員の未配置はありません。</p> <p>②令和4年11月に沖縄県が実施したICT活用に関する取組状況アンケートにおいて、学習者用端末の活用について、町内全小中学校が全学年において端末を活用しているとの回答でした。学校間、教師間で利活用の差があることが課題です。</p> <p>③5類移行後の学校生活、行事等の取り組みについては、コロナ禍の中で得られた工夫や経験等を生かしつつ、学校生活や行事等の充実に努めてまいります。</p>	教育課

席番	質問者	質問事項	要旨	答弁者	答弁内容	担当課
		2. 久米島高校及び支援事業について	<p>①久米島高校進学対策事業の取り組み内容と新たな支援計画はあるか。</p> <p>②マイプロジェクト事業、久米島高校親子移住促進の内容は。(R5, 一般会計予算書より)</p> <p>③久米島高校魅力化コーディネーターが不在となったが理由と今後の魅力化の取り組みは。</p> <p>④久米島高校前、屋根付きバス停留所の設置について伺う</p>	町長	<p>①「久米島高校進学対策事業」は、久米島高校在籍生徒の進学対策事業支援の補助事業です。内容としましては、早朝講座実施に係る支援となります。新たな支援計画は現在のところ予定しておりません。</p> <p>②マイプロジェクト事業とは、探求学習の発表会で最優秀チームを県大会等へ派遣する際の補助金となります。親子移住促進補助金は、町外から親子で移住し、久米島高校へ在学している保護者への補助金として新たに創設されたものであります。</p> <p>③前任の魅力化コーディネーターが退任したことを受けて公募を行いました。応募がない状況であります。当面の間は、館長を中心に高校魅力化事業に関わる職員で対応してまいります。</p> <p>④当該箇所、既設の屋根付きのバス停は台風被害を受け補修を検討しましたが補修方法が定まらず、安全性を考慮し、屋根を撤去した状況です。また、向かい側のバス停につきましては、県南部土木事務所へ進捗を確認しておりますが、予算の確保が厳しい状況とのことで進展しておりません。早期実施に向けて依頼を行っております。</p>	<p>①教育課</p> <p>②～③企画財政課</p> <p>④商工観光課</p>
		3. 風の帰る森交流施設について	施設が令和5年4月1日より一時閉館となっております。開館から約3年での閉館となった原因と今後の再開計画を伺います。	町長	<p>昨年度2回指定管理者の公募を行い、1回目に1社の応募がありましたが、事業提案内容やプレゼンの審査結果から基準点に達しなかったため、不選定となりました。2回目の公募では応募がなく、指定管理者が決定しなかったことから一時閉館となっております。今後については、条件の整理や方向性の再確認を行い、再度公募を行うのか、公募によらない指定管理候補者を選定するのか、若しくは町による直接運営等も含め検討しております。</p>	プロジェクト推進課
		4. 民生委員児童委員への活動支援について	本町の民生委員児童委員のなり手不足が深刻である。定員確保の困難や充足率も低い。地域の相談や見守り、関係機関の繋ぎ役として欠かせません。人員確保の取り組みと行政からの更なる活動支援があるか伺う。	町長	<p>現在、民生委員児童委員の人員確保が喫緊の課題となっており、23名の定員に対し12名が欠員の状況です。人員確保の取り組みとして、区長会や役場退職者への声掛けと同時に活動報告の周知しております。行政からの更なる支援については、今後、民生委員児童委員協議会と意見交換を行い検討してまいります。</p>	福祉課

席番	質問者	質問事項	要旨	答弁者	答弁内容	担当課
7	新垣 幸子	1. 国防と脱炭素社会と海洋深層水について	<p>フリー百科事典「ウィキペディア」に国防とは、外敵の侵略から国家を防御することである、と記載がある。現代では国防の内容が軍事的な内容に留まらず経済的、社会的、思想的な分野にまで拡大している、ともある。当町は、日本でいえば西南の国境に近い島で東シナ海を目である地理的立場にある。自立していける国境の島の産業育成の基本になる海洋深層水の事業拡大が国防の大きな基礎的要素になると考える。また、この海洋深層水は、先日行われたフォーラムにおいて、CO2削減による化石資源いわゆる石油に代わる自然グリーンの微生物である微細藻類の活用や海洋温度差発電など大きな効果をもたらす。そのことにより、地球温暖化の危機を食い止める救世主になると言われている。ここで4点伺う。</p> <p>(1) 海洋深層水取水事業の調査結果と今後の国や県への陳情や要請等の動きについて。</p> <p>(2) 民間の海洋深層水企業体や漁協、商工会、観光協会、建設業協会等との連携を強化し一斉に意見交換の場を設定する必要があると考えるがご見解を。</p> <p>(3) 海洋深層水の魅力や必要性について、町民への周知のための講演会と総決起大会の開催を要望したいがご見解を。</p> <p>(4) 採算性や国・県及び当町の政策との関連性が非常に重要になる。その為、説明資料の再検討を行う必要性があると感じるがご見解を。</p>	町長	<p>(1) 調査結果については、業務を行う中で各種の課題が浮きぼりとなったことから、業務期間を延長し、課題の整理及び取り組みの方向性について取りまとめているところです。今後の国や県への陳情や要請等については、時期やタイミングを計り行ってまいります。</p> <p>(2) 各団体等との連携強化は、深層水事業を推進する上で必要不可欠です。現在、取水管の規模や取水方法について課題の整理及び取り組みを検討している段階ですので、深層水に関連する事業者との意見交換を行ってまいります。</p> <p>(3) 深層水事業を推進する上で、町民総決起大会等は対外的にも大きなPRとなりますので、時期やタイミングを計り行ってまいります。</p> <p>(4) 現在策定中の全体計画を踏まえ、説明資料を作成致します。</p>	プロジェクト推進課
		2. 民生委員・児童委員の役割と確保について	<p>地域住民の相談役として支援を必要としている方を行政や社協等の関係機関に繋ぐ重要な職務の民生委員の方々に心から敬意を表します。3点伺う。</p> <p>(1) 民生委員の人数と役割及び確保について。</p> <p>(2) 報酬や活動費などについて</p> <p>(3) 民生委員と行政の意見交換会について</p>	町長	<p>(1) 定数23名に対し11名の委員が在籍しています。民生委員の主な役割として、活動地域において支援を必要としている方を関係機関への繋ぎ役が挙げられます。人材確保については、区長会や役場退職者への声掛けをしております。</p> <p>(2) 活動費月額5,000円、報酬日額1,500円となっています。</p> <p>(3) 定例会が毎月開催されていますので、担当者及び担当課長が参加して意見交換しています。</p>	福祉課
		3. 防災行政無線放送について	<p>機器のデジタル化により音質は良くなった。反面、南風の場合聞き取れるがその他の場合は、聞き取れないことが多いとご家庭もあるが、どのように対処しているか伺う。</p>	町長	<p>デジタル防災無線へ移行後、区長会や町民の皆様からご意見を頂戴しております。その中で、スピーカーの方向や音量等により改善した箇所もあります。</p>	総務課
		4. 風の帰る森の芝生及び植栽管理の委託業務について	<p>(1) 委託した業者は、地元か島外業者か伺う。</p> <p>(2) どのような経路でこの業者を委託したか伺う。</p> <p>(3) 入札を行ったかどうか伺う。</p>	町長	<p>(1) 委託事業者は島外業者となります。</p> <p>(2) 銭田森林公園を良好な状態に維持するため、緑地管理業務の見積を行い、最低価格提を提示した業者と随意契約を締結し、委託しております。</p> <p>(3) 3者見積を行い、随意契約を行っております。</p>	プロジェクト推進課

席番	質問者	質問事項	要旨	答弁者	答弁内容	担当課
		5. 自然や生き物の偉大さについて	4月20日の夜、幻想的な久米島ボタルの見学に行き、とても感動しパワーをいただいた。同時に10年前は久米島の何か所かの場所に多くの優しい光を放つ久米島ボタルが存在していたが、こんなに激減していることにとても残念な気持ちになった。！ 翌日21日に大岳小学校近くの遊歩道からだるま山までのつつじの花の伐採後の様子を見て、啞然とした。2点伺う！①これらのことも含めて、施政方針に「観光立町」を明確に目指して取り組むという事から町民と考える勉強会の場を設定してみたいか、見解を伺う。！②自然保護行政は広範囲にまたがる。ゆえに、以前にも述べましたが専門家の配置を要望したい。特に環境学と博物学的生物学を学んでいる方、また、久米島の自然を心から愛している方、信念をもって行動できる方が必要だと考えますが、見解を伺う！	町長	①次期観光振興基本計画の策定に併せて、町の観光資源についてや観光の在り方について議論出来ればと考えております。 ②専門家の配置につきましては、職員確保の問題もございますので簡単ではありませんが、まずは気軽に自然環境・あるいは保護といった各種の課題に対応するためのアドバイスや指導を仰げる態勢が必要だと考えております。	① 商工観光課 ② 博物館
9	喜久里 猛	1. 町道・県道の白線(側線)について	両道路の白線については消えている場所が数か所ある。再整備をする必要がある。高齢者の安全運転のためにぜひ必要であるが。	町長	道路の区画線につきましては、整備する必要があると考えております。町道につきましては、計画的に整備を図り、県道につきましては、早期に改善するよう要望してまいります。	建設課
		2. 天然モズクについて	鳥島前の天然モズクについては、ここ数年不作が続く、今年はほぼゼロに近い。この事について原因を調査し、その対策が必要である。	町長	久米島における直近5カ年間の天然モズクの収穫量は平成30年の385トンピークに年々減少が続く、令和4年は収穫はありませんでした。今後、県や久米島漁協とも相談しながら原因を調査し、対策をとってまいります。	産業振興課
		3. 久米島の気象変化について	日本全国的な件ではあるが、その中で久米島について独自で調査する必要があるか。チャーギ虫の再発生、ナーバの自生数量の減少等。	町長	日本国内に限らず全世界で気象変化については、大きな課題となっております。その大きな要因として温暖化が挙げられると思います。本町においても同様に影響を受けておりますが、具体的な取り組みを行うまでには至っておりません。気象変化における独自調査が必要かどうか検討してまいります。	総務課
		4. ペットの飼育放棄について	犬、猫のペットについては家庭の事情により放棄する事例が多い。町で保護し、または罰則の方法はないか。	町長	・本町におけるペットの飼育放棄問題につきましては、犬についての相談件数は減少傾向にありますが、猫につきましては地域でのトラブルなど、依然として課題が多い状況にあります。 現在、町民ボランティアの協力により、猫の避妊、去勢や里親探し等の活動を行っており、地域によっては効果が出始めております。 罰則につきましては、他市町村を参考に検討し、町民の動物愛護並びに生活環境の向上を推進してまいります。	環境保全課
		5. 観光立町について	町長は施政方針で観光立町をうたっているが、その具体的計画はできたか。またその予算は6月補正予算で計上されているか。	町長	具体的な計画は、次期観光振興基本計画の策定時に検討する予定です。計画策定に係る予算は本議会に上程させて頂いております。	商工観光課
11	東江 浩明	1. 本町の県・町道の整備事業状況について	(1)町道の改修工事等々、現状について伺う。 (2)今年度、県道整備事業進捗及び新規事業状況について伺う。	町長	(1)町道改修事業につきましては、比嘉2号線が今年度完了予定、大原ビーチ線が今年度から工事を行い、令和8年度に完了予定となっております。また、比嘉6号線については、令和6年度採択に向け取り組んでおります。 (2)県道整備につきましては、久米島一周線イーフ地区及び、久米島空港真泊線仲泊地区が予算の確保が厳しいため中断しており、その影響で新規事業についても予定はないようです。	建設課
		2. 堆肥センター業務委託後の現状と今後への対応状況について	(1)現在の業務内容工程等々について伺う。 (2)新商品堆肥への取り組み対応策について伺う。	町長	(1)農家からの牛糞の回収、堆肥生産、販売などの業務内容、生産工程は委託前と同様となっております。 (2)新商品を生産する機械の導入に向けて調整しているところです。	産業振興課

席番	質問者	質問事項	要旨	答弁者	答弁内容	担当課
		3. 観光客入域対応及び誘客戦略について	今年度、本町内外イベント等、事業状況について伺う。	町長	今年度の町内外イベントについては、6月の海洋深層水関連イベントを皮切りに、9月には久米島まつり、10月には久米島マラソンが予定されています。また、町外イベントについては、離島フェアやタイムス物産展などこれまで実施してきた事業に加え、町単独の観光、物産イベントの開催に向けて調整してまいります。	商工観光課